

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

	評価日	2023年 3月31日	
団体名	大人と子どもの青空カフェ		
事業名	大人の学び場「暮らしの学校」事業		
事業経費③	93,080 円	支援金額⑨	46,000 円

事業の目的・内容	地域の課題
	事業内容

コロナウィルス感染拡大に伴う妊娠から出産後の親向けの指導や交流が少なくなったことを受け、不安や悩みを気軽に相談できない子を持つ親が増えている現状課題に対するものである。

本事業は、佐久市及び佐久市以外の有識者の協力をいただきながら、様々な角度から妊娠、出産、育児を捉え直す学びの時間を設けるものである。本事業により、育児の不安や悩みを解消するだけでなく孤独の解消にもつながり、結果子を持つ親が心と体を健やかに保ち、その子との豊かな時間を育むことにつながることを目的とする。

事業の活動実績	5/22 産前産後のお話会 参加者3名 7/3 食物アレルギーのお子さんを持つママたちの交流会 参加者1名（当日キャンセル3名） 12/20 「一緒に学ぼう 暮らしの中のアレルギー」 参加者8名
	メインの講座となった12月に向けて、活動メンバー全員が初めて講座の開催をするにあたり広報用のポスター作成、事前の準備・打ち合わせ、当日の進行などメンバー全員が1つ1つ試行錯誤をしながらの開催となりました。 コロナの広がりがあるなかで開催のタイミングが読みにくく、開催規模も顔のわかる範囲で切り替え想定よりも小規模の講座となりましたが、当日は活動メンバーの半分以上がコロナの感染や家族の体調不良により欠席、キャンセルの方が出るなどのトラブルもありましたが開催当日は、まるキャンから参加の高校生が保育のチームで大きな支えとなり活躍をしてくださいました。 参加者については、8名のうち遠くは松本市や長野市からも参加者がいらっしやり、参加者の希望により想定時間より3時間延長しての開催にもなり有意義な時間となりました。



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>事業の成果としましては、2つあります。1点は、活動メンバーのお母さんたちが母親になってから初めてのチャレンジができたことです。</p> <p>具体的には、広報分野ではCANVAというツールを使いチラシ作りを行ったこと、そのチラシをどこにどう置いてもらうか考え実行したこと、ZOOMを使い、会議の準備・録画・配信（内部のみ）に使ったこと、Googleフォームでアンケートの作成をし、実際に提出してもらったことなどです。</p> <p>これらのチャレンジを通して、世の中にあるツールをやったことがないからと諦めるのではなく、みんなで支え合うことでなんとか大変なことを乗り越えて自分のスキルとして身につけることができたこと、というのは、社会で今仕事として使われているものに触れ、実際に使い、成果物として世の中に出せたことはメンバー1人1人にとって大きな自信につながったと私たちは思っています。</p> <p>そして、2点目は、医療の分野における選択肢がいま求められているということの声に多少なりとも応えることができたこと、そして、私たちも地域に存在する医療のあり方を知ることができたことが参加者及び開催者の双方にとって学びにつながりました。</p> <p>子どもの体調や不登校だけでなく親の持つアレルギーや体調不良というものは、西洋医学だけでは解決できないものであり、それらの悩みを実際に持つ人たちが、欧米では西洋医学とともに治療の一環として始まっているホリスティックな医療を佐久市においても広がっていくことを願っている、ということに対して私たちもその1つのきっかけが作れたことは意味があると思っています。</p>
----------	---

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p>	<p>1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>開催回数は申請よりも少ない回数となりましたが、今回の事業のメインである外部専門家を招いた時間を持つこと、特に県外の講師を招き、広報を行い、準備をするということは申請通りにでき、活動メンバーにとってもたくさんの学びやチャレンジのある活動になりました。</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p>	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>暮らしの中で抱える悩みや不安が実際にあるということ、それについて同じような気持ちでいる親同士が繋がることで安心感や意識の広がりが見られたことは、期待していた以上でした。</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p>	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 <input checked="" type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>活動メンバーの家庭でコロナが蔓延してしまったこともあり、集客人数を予定より少なくせざるを得ず、またキャンセルもあったことから講師への支払予定金額と大きく変更が生じています。また、土日の活動が思った以上にメンバー自身ができず計画通り進めることができませんでした。そのような中でもできることは着実にしていこうということで、取り組める範囲で精一杯取り組みました。</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p>	<p>今回の活動では、佐久市に限らず市外長野県内からの参加者もあり、この活動のニーズの高さがわかりました。また、参加者さんの声から大規模な集客をしているものよりも小さな規模で開催していることで安心感が繋がり、相互に話す機会も多く持つことができ、参加した時の満足感が高いということもわかりました。私たちの小さな規模であるからこそその意味の深さを教えていただくことができました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今年は、活動内容に欲張ってしまったので、活動メンバーのできる範囲で、けれども、子育て世代に意味のある企画を着実に実行していきたいと思っています。</p>
---------	---